

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月28日

事業所名 仙台市上飯田たんぽぽホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本来ホールである所を保育室として使用しているため、パーティションで区切り適切なスペースにしている ・密にならない工夫を行いながら活動を行ってきた ・過ごしやすいう毎日確認している ・和室を時間差で使うようにしている 	
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援が必要な児が多いが職員で連携して対応している ・欠員があるが、週2、3勤務の職員と相談し了承を得た中でヘルプをもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任と地域相談員がクラスリーダーも兼務しており業務量が多い。→現況を把握し法人全体で検討し人員を確保出来るようにしていきたい。 ・病休の職員がある場合の対策のあり方→他園の応援をもらう等、他の職員に負担が生じないように勤務体制を整えていきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールではパーティションで空間を適度に区切り、活動内容に合わせて移動しながらすすめている。視覚的教材も積極的に活用。 ・他の部屋も視覚的、空間的にわかりやすくするため、配置など常に配慮している。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除、消毒をし細心の注意をはらっている。 ・季節ごとに装飾をし雰囲気作りをしている。 	
常務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・意向や要望に合わせて改善できるところは速やかに行う。 ・アンケート結果は目を通し、気をつける様、心がけている。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・結果や、それに対するコメントを提示している。 	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修等学ぶ機会を多く設定している。（コロナ禍でもリモート等で） 	<ul style="list-style-type: none"> ・正職、臨職を分けての研修ではなく、「ホーム職員」として研修への参加を促せると良い。 →研修のあり方（内容・時間）を再検討し職員のレベルアップをめざしていきたい。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・必ずクラス担任で会議をし、1人だけの考えにならないよう、意見を出し合いながら作成している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・支援会議を行い、話し合って支援内容を決めている。 ・子ども1人1人に合わせて（保護者とも）項目、目的をあげ、支援内容を具体的に作成している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・職員間だけでなく、保護者と常に話し合いながら支援するよう努めている。 ・必ず支援計画に基づいた支援ができるようにしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・様々なあそびが経験されるよう、またクラスに合わせて内容を変化させている。 ・同じものを行いつつ、変化も合わせて取り入れている。 ・子どもたちの様子に合わせて流れや活動を工夫する様、心がけてきた。必要に応じて同じ活動を繰り返し取り入れている。 ・日々の反省で次回への改善点を確認しながらすすめている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝必ず行う。 ・連絡ミスのないよう細めに確認している。 ・役割は決めているが「臨機応変」でまとめる部分も多いと感じることもあった。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・降園後、必ず行き共有している。 ・次回に生かす反省の時間となるように心がけている。 ・反省を毎日行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・内容をしばって、他者が見てもすぐに共有できたり、振り返ることができるようにしている。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			

関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に行われている。 ・区役所、のびすく、支援センターと連携している。 ・アーチルとは連携しているが、より幅広く関係機関との連携が図れると良い。 	・関係機関との連携の強化
	②③	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)</p> <p>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて区役所、病院リハと情報共有している。 ・対応が同じくできるよう保護者から聞きとり支援を行っている。 ・アーチルとは連携しているが、より幅広く関係機関との連携が図れると良い。 	・関係機関との連携の強化
	②④	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)</p> <p>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて区役所、病院リハと情報共有している。 ・アーチルとは連携しているが、より幅広く関係機関との連携が図れると良い。 	・関係機関との連携の強化
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎをし、共有して相互理解をしている。 ・書面と口頭で丁寧に行っている。 	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・就学まで在園するお子さんがいない。 ・(卒園後に)必要に応じて行っている。 ・卒園後に勉強会に来園していただき、お話をいただく機会がある。 	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の場などで学べるようにしている。 ・アーチルや市連協との連携あり。 <p>地域の事業所との連携の仕方は今後の課題である。</p>	・関係機関との連携の強化
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、どこまで課題を伝えるか迷うこともあった。職員間で確認をしたりもしたが今後はもっと相談し、保護者に合わせて、より良い対応をしていきたい。 ・活動への参加の仕方、ホームでの過ごしなどを見て保護者と共通理解をするとともに、家庭での様子もその都度伺うようにしている。 	
	③⑲	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	③⑳	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・心がけている。 ・定期的な面談の他に、保護者からはいつでもノートや口頭で思いを聞きとり対応している。職員間で必ず共有している。 ・在園中だけでなく卒園後のフォローも行っている。 	・相談内容によっては、個人情報に配慮しながら、積極的に他の関係機関と連携をとり、支援に繋げていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相談やお話があったら即対応する。保護者の思いはどこにあるか、相手と相違ないように、丁寧に聞きとり、説明したり対応している。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なことにしっかりと心配りし取り扱いルールをしっかりと守っている。 	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのお子さん、保護者に合わせた伝え方を行っている。 ・どのようにすればわかりやすいか、伝え方に注意し、思いを丁寧に汲み取るように心がけている。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はコロナ禍のため難しい。 	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・引き続き、職員に各マニュアルの周知の徹底をはかり、保護者に伝え実施していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、実施しており、災害発生に備えている。 	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・提出していただく書類、面談で聞きとった内容の把握に努めている。 ・年度初めに健康管理カードを記入して頂いている。変更があった場合は聞きとりをするようにしている。 ・予防接種に関してはやや確認不足も感じている。 	・引き続き継続していきながら、更に把握をしっかりしていきたい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は研修経験もある。 ・虐待防止の観点から、必要に応じて家庭訪問をするなどしている。 ・区とも連携している。 	

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。